



【設定の組み方をもう一度!!】

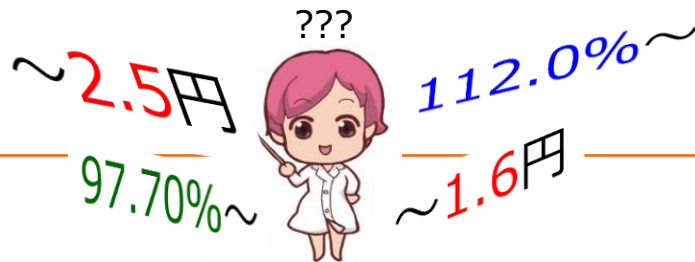
～6号機本格参入の前におさらいを～

P-FAN-SPECIAL-EDITION

★ ★ ★ ★ ★ P-FAN特集

1) 実測値の把握

設定を組むにあたって様々な数値を把握した上で調整しなければいけないのは言わずもがなじゃが、まず機械そのものが持っている数値は絶対押さえないといかんの。特に各設定の**出玉率**や**コイン単価**は必須じゃ。出玉率などはメーカー発表値を参考にするのも一つの手じゃが、メーカーやタイプによっては発表値と大きな乖離を生む場合も多いからのお。また、コイン単価も都内など非等価交換店の場合は、同じ出玉率でも「残る利益」に大きな影響を与えるから絶対に押さえねばならんぞっ!!



出玉率はメーカー発表値とのズレが生じることも多いから各設定の把握は必須!!

コイン単価は特に「非等価交換店」において利益額に大きく影響することに留意!

2) 全体稼働予測値と機種稼働予測

店舗全体での稼働予測は立てやすい!!

しかし…

機種毎の細かい稼働予測を立てていますか?

全体は10,000枚だけど…



ジャグラーが11,000枚で、
絆が17,000枚で、
○○が?
△△が??
××が??
もう、訳わかんないよう (泣)

「稼働予測」はシミュレートを行う上で非常に重要な要素じゃが、概ね行えるのは「店舗全体でどれくらい稼働するか?」くらいじゃないかの? やれたとしてもジャグラーや基幹AT系の機種がどれくらい動くかを考えるくらいじゃろう。当然、店舗全体で10,000枚稼働と想定しても全ての機種が10,000枚動く訳ではない。どの機種がどのくらい動くのか詳細な形で想定してこそ「本物の稼働予測」になるというワケじゃ。**機種毎の「稼働構成比」は決して無視できるものじゃないぞっ!!**



P-FAN-SPECIAL-EDITION

★ ★ ★ ★ ★ P-FAN特集

3) 設定毎の稼働差



更に稼働予測値を精度の高いものにしたいなら「設定毎の稼働差」も考えに入れねばならん。下の図を見て欲しい。設定1の出玉率が97.2%、設定6の出玉率が112.0%の機種があったとする。明日の機種想定稼働を12,000枚とした場合、「全台12,000枚で動いた場合」と「設定6が高めに動いた場合」で計算しただけでこれだけ数値が変わってくるんじゃ。等価交換なら左の予測で「台粗2,280円」、右の予測で「台粗80円」になる。これだけの違いを生むのであれば「設定毎の稼働差の考慮」は店舗にとっては死活問題と言っても過言ではないぞ。

【機種A 設定1出玉率：97.20% 設定6出玉率：112.0% 機種稼働予測：12,000枚とした場合のシミュレーション】

図.1

設定	稼働枚数	出玉率	差枚数
1	12,000	97.20%	336
1	12,000	97.20%	336
1	12,000	97.20%	336
6	12,000	112.00%	-1,440
1	12,000	97.20%	336
1	12,000	97.20%	336
1	12,000	97.20%	336
1	12,000	97.20%	336

差枚数：+912枚（粗利18,240円）

設定毎の稼働差を考慮するだけで…



図.2

設定	稼働枚数	出玉率	差枚数
1	11,142	97.20%	312
1	11,142	97.20%	312
1	11,142	97.20%	312
6	18,000	112.00%	-2,160
1	11,142	97.20%	312
1	11,142	97.20%	312
1	11,142	97.20%	312
1	11,142	97.20%	312

差枚数：+24枚（粗利480円）

ここまでの差が生じる！

4) 機種特性の把握

当然と言えば当然だけど、設定を入れるにあたって各機種、各設定の持つ特性と特徴の把握は必要だわ。例えば、「偶奇」がハッキリ分かる機種なら、なるべく設定2や4を使ってみるのが得策だろうし、小役などの各数値が段階的にも関わらず「設定3以上からの確定演出アリ」の機種を2ベースで運用してもあまり効果的とは言えないわ。だったら設定1.3で組んだ方がお客さんにアピールした方が良いもの。とくに最近の機種はART終了画面などの演出示唆で各設定に「確定演出」を持っている機種が多いからそこらへんは絶対押さえてね☆それに加えて設定の「高低判別」や「偶奇判別」の難易度を考慮して組み上げれば魅力的な設定が組めるんじゃないかしら？コレ重要よ!!

